

令和 7 年度第 2 回 島田市中小企業・小規模企業振興会議

●意見照会結果

No	選択テーマ	理由等
1	選ばれる地元中小企業・小規模企業になるために何をすべきか	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの参加促進を促す方法 各団体で経営に関するセミナーを数多く開催しているが参加者が少ないのが現状である セミナーの参加者を増やす方法を考えたい ・経営理念の作成をサポートする体制作り 経営理念を持っている企業が少ないため、経営理念の必要性を説明し、経営理念・経営指針の作成を促す方法を検討したい ・島田市のブランドを構築する 資源を生かしたブランド作りを検討したい
2	地元企業との結びつきによる若者の流出防止	「後継者への理念の伝承」と後継者同士の繋がりや結びつきも存続には必要であるため、後継者同士の集う場や年代の比較的近い高校生や大学生と接点をもつ場の創造も効果的ではないか
3	物価高騰、人件費高騰に対する対策について	物価高騰や、人材確保に向けた人件費の高騰、収益確保が厳しくなっている
4	人材の定着	<p>昨年度のテーマである「人材確保・育成」についてはセミナーに関するアンケート結果も好評であり、一定程度の成果があったと思われるため、「人材の定着」についての議論ができればと考えている。</p> <p>若年層の離職が目立っているのが現状で、数年掛け教育してきた人材が辞めてしまうことに危機感を感じているため、どうすれば、長期に渡って定着してもらえるのか、会社の魅力をどうやって感じてもらうのか等を議論したい</p>

5	魅力のある企業を増やし市内企業への就職率を上げる	<p>若者流出の要因として「地元企業の魅力が十分に伝わっていない」「自分の将来像を重ねにくい」といったことが挙げられる</p> <p>市内企業の魅力向上と若者の地元就職促進には、経営理念を明確化し、理念に基づいた経営の実践が重要である</p> <p>社員が企業の使命に共感し働ける環境を整え、市内の企業イメージを高めることも重要であり、給与や待遇だけでなく、理念が活かされた職場こそが若者にとって魅力的な企業となると考える</p>
6	災害時における企業の事業継続について	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCP（事業継続計画）の普及・推進 中小企業向けの実践的なBCP 策定支援 業種に応じたチェックリストや研修会の実施 ・ 地域と連動した防災体制 災害時に地域住民へ物資供給や場所提供ができる「頼られる企業」を増やす 行政と企業の情報共有・連携の仕組みづくり ・ 設備投資・備蓄支援 企業における防災倉庫、非常電源、備蓄の導入に対する補助制度の検討
7	人材の確保・定着・活用	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業種、業界を問わず、人材不足（人手不足）が進む ・ 労働生産性の低下、利益の減少、税収の悪化 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業は、労働環境の整備や採用戦略の見直し ・ 行政は、中小企業を支える施策の提案と実施 <p>理由</p> <p>現状を改善するためには、人を大切にする具体的な対応を検討することが必要であると考えため</p>